

ぬまづ 広報 お知らせ号

12月15日号

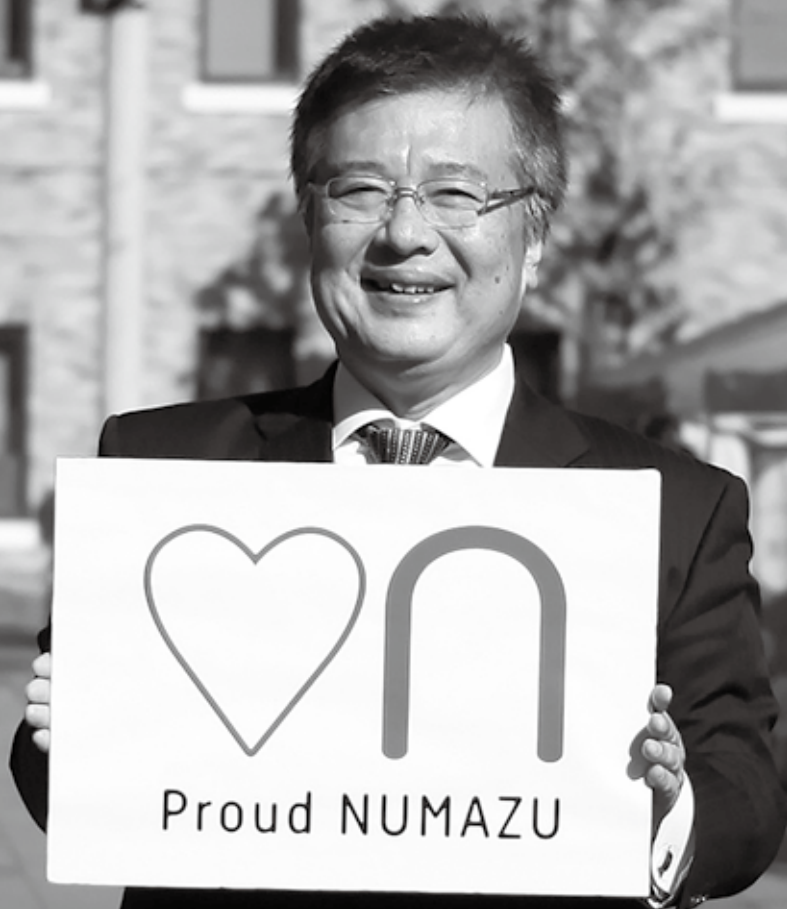


沼津の誇りを見つけよう！
沼津の誇りを楽しもう！
沼津の誇りを広めよう！

2017年(平成29年)
No.1566

■<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

つながりと
対話を大切に。



2017年を振り返って。

沼津市長 大沼明穂

昨年11月の市長就任以来、「世界一元気な沼津」をスローガンに掲げ、文字どおり息を弾ませながら全力で駆け抜けた一年でした。

市民の皆様のご意見を伺い、是非とも推進しようと掲げた「こども医療費の無料化」は、多くの関係者のご理解とご協力をいただき、本年10月に実現することができました。また、鉄道高架事業を中心とする沼津駅周辺総合整備事業については、まちの中心部から市全体を元気にするプロジェクトであることを私自身深く理解し、事業推進に向けて市民の皆様への情報公開と対話に努めています。

本年実施した「市民まちづくり会議」と「市長と語る会」は、市民の皆様積極的に市政に参加していただきたいとの思いから開催したもので、そこでは将来のまちづくりについての活発な議論や、市政に関する多くのご意見・ご要望をいただきました。さらに、地域の祭りや市民主催のイベントなど、各地の様々な行事に参加させていただく中で、精力的にまちづくり活動に取り組んでおられる多くの市民の皆様に触れ、大変うれしく思うとともに、その存在を心強く感じています。

私は、まちづくりの主役は市民と申し上げてきました。「世界一元気な沼津」に向けたまちづくりの舞台で輝くのは市民の皆様で、私たち行政はそれを下支えする裏方。この舞台を成功させるために大切なのは、市民と市民のつながり、そして市民と行政のつながりです。そのつながりを強めるために、今後は、市民の皆様が考えるまちづくりの課題や改善に向けたアイデアなどを伺いながら、市民と行政が情報をもっと共有していけるよう、対話を重ねていきたいと考えています。